

令和5年度山口県地域脱炭素ステップアップ講座（第3回）

事前資料

～これまでのワークショップの振り返り～

地域脱炭素ステップアップ講座支援事務局

はじめに：本資料について

- 本資料は、第1回・第2回講座で行ったワークショップの内容を振り返るものです。
- 第3回講座（2月7日）では、「地域課題を解決し、地域の魅力と質の向上に資する施策の立案」に関するワークショップを行います。
- そのため、第3回講座までに、本資料により第1回・第2回講座内容を復習していただきますようお願いします。
(必要に応じて、第1回・第2回講座の配布資料も併せてご確認ください。)

※なお、第3回講座内でも、第1回・第2回講座を振り返り解説する時間を設けます。

第1回講座でのワークショップの内容（振り返り①）

※ワークショップ内容の詳細は、第1回講座の配布資料参照

1. 区域特性の把握

設定されたグループごとの前提条件をもとに、区域の特性とその要因を
①気候、②再エネ資源の賦存状況、③産業構造、④都市構造、⑤人口動態の5分類で整理

2. 区域の将来像の設定

区域特性を踏まえ、その区域において目指す将来像を設定

<例>

- ・中心市街地エリアの公共施設等へ太陽光発電設備を導入、災害時の避難施設としても活用
- ・地域のコミュニティバスをEV化、充電スタンドやEVカーシェアの拠点も拡充

3. 区域の将来像における課題の検討

区域において目指す将来像を達成するために課題となりそうな要素を検討

<例>

- ・資金面（補助金等）
- ・庁内・地域との合意形成
- ・人材確保・育成

4. 地域の温室効果ガス排出量や再エネポテンシャルの現状把握

自治体での温室効果ガス排出量や再エネポテンシャル把握方法を学習

※自治体排出量カルテ（環境省）の構成や内容等について

第2回講座でのワークショップの内容（振り返り②）

※ワークショップ内容の詳細は、第2回講座の配布資料参照

5. CO₂排出量の算定方法

現況推計における主な算定方法を学習

①都道府県別按分法、②都道府県別按分法(実績値活用)、③事業所排出量積法、④原単位活用法

6. 排出量の多い部門・分野の把握・要因分析

自治体排出量カルテを参考に要因分析を実施

排出量の多い分野・部門を把握し、地域特性を踏まえながらその要因を、【活動量】【エネルギー消費原単位】【排出係数】ごとに分析

7. 排出量の将来推計手法

部門・分野ごとのBAU推計の手法を学習

8. 削減目標の設定

区域施策編における削減目標の設定手法を学習

①対策・施策の削減効果の積上げによる設定、②地球温暖化対策計画の目標を踏まえた設定
③都道府県の区域施策編の目標を踏まえた設定、④長期目標からのバックキャストによる設定

9. 対策・施策の検討

分野・部門ごとに取り組むべき対策・施策を整理

(参考) 第3回講座でのワークショップの内容について

- 第3回講座では、第2回講座の内容を踏まえ、取組主体ごとの行動計画案の設定等を行います。
- また、下記シートを用いて、第1回～3回講座のワークショップの内容をまとめる時間も設ける予定です。

※第3回講座の当日は、第1回・第2回講座でのワークショップの取りまとめ資料等を別途配布させていただきます。

第1回講座

区域の特性



区域の目指す姿



区域の目指す姿における課題

第2回講座

部門ごとの現状に対する施策・対策

	産業部門	業務その他部門	家庭部門	運輸部門
施策・対策				

第3回講座

これからの行動計画案

	対策・施策
住民	
事業者	
行政	